

にしとみおか ながたけ  
西富岡・長竹遺跡

伊勢原市 No.14 遺跡



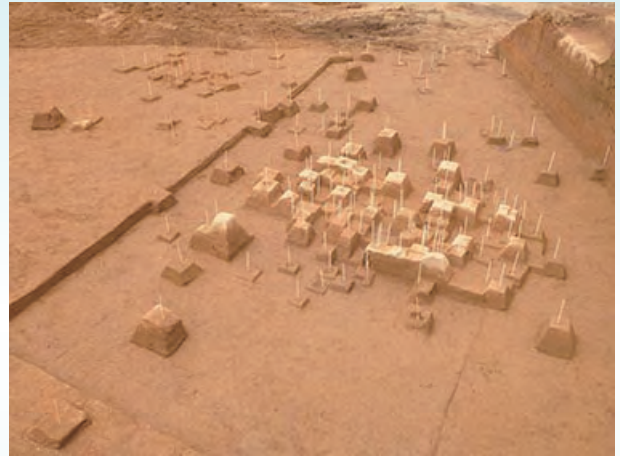
1. C2号堀



2. 木簡出土状況



3. 旧石器時代調査風景



4. 旧石器時代 B1層上部遺物集中

● 主な調査成果

1区では旧石器の調査が行われ、昨年度に続き、B0～L1H層を中心とした石器群、L1H層下部を中心とした石器群、B1層上部、下部を中心とした石器群、L3層を中心とした炭化物集中の5枚の文化層が確認されました。2区では、昨年度に調査した中世の堀が北と西へ伸び、2本に分岐することがわかりました。特に西側へ伸びていく堀は水が常に流れていた状況であることが堆積状況から確認され、木製品等が出土しました。遺構には伴いませんでしたが、瓦塔片が数点出土しています。このことから、調査区の近くに御堂のような瓦塔をおさめる建物があったことが想定されます。

- 調査期間 2021年8月1日～ 調査中
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 一般国道246号線（厚木秦野道路）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市西富岡
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北西約3kmの渋田川とその支流に挟まれた丘陵の尾根上

